

国土交通省 第1回ライフスタイルの多様化と関係人口に関する懇談会

みんなの移住フェス2020・オンライン 共有資料

2020年7月10日

株式会社カヤックLiving

私たちが運営するSMOUTについて

SMOUTは、地域の人（自治体、事業者、個人）などが地域に興味がある人を募集し、直接スカウトすることができる『スカウト型』マッチングサービスです。地域に興味がある人とのコミュニケーションや地域のユーザープール（関係人口）を管理でき、継続的な繋がりを創出します

登録者数

約16,000 人

プロジェクト掲載市区町村数

401

プロジェクト掲載数

1,395

年代

20-30代のユーザーが

70%

居住地

関東

48%

関西

26%



みんなの移住フェス2020・オンラインを6/26-27に開催

好きに暮らそう。好きな場所で。好きな時に。

みんなの移住フェス 2020 オンライン

DAY1 6.26 FRI DAY2 6.27 SAT
両日10:00~16:00

個別相談ブース
INDIVIDUAL CONSULTATION

オーシャンステージ
OCEAN STAGE

マウンテンステージ
MOUNTAIN STAGE

移住なんでも相談所
MOVE CONSULTATION

Facebook, Twitter, LINE icons

開催のきっかけ

新型コロナウイルスによる外出自粛等の影響を受けた地域に興味をもつ人々の反応の高まりが「みんなの移住フェス」開催のきっかけ

2月中旬

3月上旬

3月中旬

4月/5月

5月中旬プレスリリース
6月26-27 開催

新型コロナ
影響による
在宅勤務や外出自粛
スタート

SMOUT
オンライン
移住ツアー
開催

SMOUT
オンライン
移住相談
センター
開設

SMOUTへの
新規登録数が
前年同期比6割増

地域への
「興味あり」数の
前年同期比1.5倍

オンライン完結の
移住イベントを告知・開催



地域の
状況

地域へ来てもらえない

対面での移住相談中止

オンラインでの関係人口/移住施策を再検討

都市部の
状況

外出できない/エンタメ不足

テレワークするなら快適な地域を探してみたい

みんなの移住フェス2020・オンライン概要

都市部の人々が好きな方法で地域の情報に触れたり、人々と繋がれるよう、いくつかの接点を用意

専用Webサイト



地域を知る・感じる
LIVE配信ステージ



地域の情報を
収集できるSlack



オンライン
個別相談



みんなの移住フェス2020・オンライン概要（参加地域）

2日間にわたり、合計74の地域が参加

参加自治体一覧

DAY1
6.26 FRI

北海道上川町 岩手県花巻市 岩手県一関市 宮城県気仙沼市 秋田県大館市 山形県真室川町
群馬県 富山県朝日町 石川県珠洲市 石川県能登町 福井県福井市 長野県 長野県大町市
三重県尾鷲市 三重県伊賀市 三重県南伊勢町 三重県紀北町 兵庫県豊岡市 鳥取県智頭町
島根県 島根県飯南町 岡山県真庭市 山口県萩市 岡山県新庄村 山口県 愛媛県 高知県
高知県土佐町 宮崎県椎葉村 鹿児島県錦江町

DAY2
6.27 SAT

北海道旭川市 北海道名寄市 北海道深川市 北海道二セコ町 北海道下川町 北海道芽室町
青森県弘前市 岩手県花巻市 宮城県気仙沼市 宮城県栗原市 宮城県南三陸町 福島県 群馬県
埼玉県長瀨町 神奈川県小田原市 新潟県三条市 新潟県南魚沼市 富山県 富山県南砺市
富山県上市町 石川県 石川県珠洲市 石川県能登町 福井県 福井県福井市 長野県
長野県伊那市 長野県大町市 長野県根羽村 岐阜県中津川市 静岡県三島市 三重県多気町
三重県明和町 兵庫県 兵庫県豊岡市 兵庫県朝来市 鳥取県 島根県 島根県雲南市
島根県飯南町 岡山県高梁市 岡山県真庭市 岡山県新庄村 山口県 山口県宇部市 山口県山口市
山口県萩市 徳島県三好市 香川県多度津町 愛媛県 高知県 高知県中土佐町 佐賀県
長崎県佐世保市 熊本県天草市 大分県国東市 宮崎県宮崎市 鹿児島県出水市 鹿児島県十島村
鹿児島県東串良町 鹿児島県錦江町 沖縄県伊江村

地域側及び都市部のみなさんの反応と、当日の実績

全国74の地域と、約6500人の地域への移住や関わりに関心の高い方々が参加

参加者数 **約6,500** 人
(Youtubeの視聴者 + 専用Webサイトで視聴したユニークユーザー数)

個別相談件数 **105** 件

参加地域数 **74** 地域

地域の情報を収集できる
Slackへの参加件数 **約400** 人
(地域に興味のある方(都市部)の数)

気付き／今後に向けて

オンラインオフラインの複合施策の可能性、DX化への期待

地域側

- オンライン完結の取組、各種ツールをスムーズにご利用されていた地域多数
- Slack等を通して他自治体のPRやコミュニケーションなどを参考にできた、との声も
→**DX化への期待**
- LIVE配信やオンライン個別相談がきっかけで地域おこし協力隊や地域直接訪問へのつながり複数有り
→**オンラインとオフラインの組合せ施策への可能性**
- 個別相談予約やSlackでの都市部の方とやり取りが進まなかった（少なかった）地域もあり、参加全地域が満足、という状況には至らなかった
→**地域側でのオンラインコミュニケーションスキルトレーニングなどが必要**

地域に興味のある方々（都市部側）

- 自宅や好きな場所から地域の情報や人とつながる機会が出来たことで、参加へのハードルは低かった様子
→**物理的な移動がなく、時間短縮効果などオンラインイベントへの抵抗感はほぼ無し**
- 具体的に地域への関わりや移住を検討している人や、構想段階の人など、潜在層顕在層が幅広く参加。印象としては潜在層の率が高そうであった
→**各層に向けたコンテンツやコミュニケーション手法が大切（マーケティング）**
- 40代/家族ありの参加者もオンラインツールの活用に抵抗なし